

宋体，小三号，加粗

论文题目 **关于身体语言中日惯用句的对比研究**

（中文） **— 以「头」为中心**

Ms Mincho体，小三号，加粗

论文题目 **身体語彙に関する中日慣用句の比較研究**

（**外文**） **―「頭」を中心に**

姓 名 **\*\*\***

准考证号 **010\*\*\*\*\*\*\*\*\***

中文姓名、准考证号、专业为四号宋体加粗，日期为小四号宋体加粗

专 业 **工商管理**

完成时间 **202\* 年 \* 月 \* 日**

**广东外语外贸大学**

**毕业论文（设计）学术诚信声明**

本人郑重声明：所呈交的毕业论文（设计），是本人在导师的指导下，独立进行研究工作所取得的成果。除文中已经注明引用的内容外，本论文（设计）不包含任何其它个人或集体已经发表或撰写过的作品成果。对本文的研究做出重要贡献的个人和集体，均已在文中以明确方式标明。本人完全意识到本声明的法律结果由本人承担。

 作者签名：

日期： 年 月 日

**广东外语外贸大学**

**毕业/学位论文（设计）版权使用授权书**

本毕业/学位论文（设计）作者同意学校保留并向国家有关部门或机构送交论文（设计）的复印件和电子版，允许论文（设计）被查阅和借阅。本人授权广东外语外贸大学可以将本毕业/学位论文（设计）的全部或部分内容编入有关数据库进行检索，可以采用影印、缩印或扫描等复制手段保存和汇编本毕业/学位论文（设计）。

本论文（设计）属于**保 密**□，在 年解密后适用本授权书。

**不保密**□。（请在以上方框内打“**√**”）

毕业/学位论文（设计）作者签名：

 日期： 年 月 日

**身体語彙に関する中日慣用句の比較研究**

日语题目格式：MS PGothic字体、三号、居中，可分成1～3行居中打印。每行左右两边至少留5个字符空格，单倍行距

（左页边距3.17cm）

上页边距2.54cm

**―「頭」を中心に**

姓名专业：日语，MS Mincho，小四，居中，每项中间空2字符

姓名（日文汉字） 专业（日文）

要旨二字：MS Mincho，小四，加粗

**要旨**：中国語の“口蜜腹剑”、“眼中钉”、“耳边风”など、日本語の「手が早い」、「口が軽い」、「足が出る」などのように、中国語においても日本語においても、身体語彙を含む慣用句が幅広く使われるという共通的な言語現象がある。これは人々の長い間の豊かな生活経験と民族文化の産物だと見なされている。本研究は、認知言語学の視点から、日中両言語における「頭」に関する慣用句を対照考察するものである。目的として、「頭」に関する慣用句の意味の日中対照分析を通して、二つの異同点を明らかにし、そして、その慣用句の意味生成において、構成要素である「頭」の意味と、認知的プロセスの役割を分析する。

要旨内容用MS Mincho，小四，1.5倍行距

**キーワード：**身体語彙、慣用句、「頭」、比喩

中文题目格式：在25个汉字以内，格式：黑体、三号、居中、一行写不下时可分两行，单倍行距

MS Mincho，小四

MS Mincho，小四，加粗

**关于身体语言中日惯用句的对比研究**

**— 以「头」为中心**

姓名专业：中文，宋体，四号，居中，每项中间空一字

“摘要”二字加粗、中间空一字、首行缩进二字

姓名（中文） 专业（中文）

**摘 要：**汉语的“口蜜腹剑”、“眼中钉”、“耳边风”等，日语的「手が早い」、「口が軽い」、「足が出る」等等、在汉语和日语中都有广泛使用身体词惯用句，这是存在着的共同语言现象。同时也被视为人们丰富的生活经验和民族文化的产物。本文运用认知语言学的比喻理论，对汉语和日语中包含“头”这一身体词的惯用语进行了比较研究.目的是，通过对汉日“头”惯用语意义的对照分析，明确两者的共同点和不同点，并且关于惯用语的意义生成过程的基础上，也分析了汉日“头”惯用语的构成要素、认知意义。

（右页边距3.17cm）

中文摘要内容300字以内，

格式：仿宋、小四， 1.5倍行距

**关键词：**身体词汇、慣用句、「头」、比喻

关键词一般为3－5个，格式：仿宋、小四、“关键词”三字加粗、首行缩进二字

(下页边距2.54cm)

「目次」二字用MS Mincho字体、小三，加粗、居中

**目次**

[要旨 I](#_Toc12906_WPSOffice_Level1)

摘要

1.初めに [1](#_Toc20778_WPSOffice_Level2)

[2.先行研究 3](#_Toc20778_WPSOffice_Level1)

[2.1中国語における先行研究 3](#_Toc17065_WPSOffice_Level2)

目次内容中文，宋体，小四；日文，MS Mincho字体、小四，列到二级标题，二级标题空两字符，目录页不列入目录中，另页起。右边页码对齐。

[2.2日本語における先行研究 3](#_Toc30145_WPSOffice_Level2)

[2.3中日身体語彙慣用句の比較概説 4](#_Toc29058_WPSOffice_Level2)

[3.認知言語学のアプローチから見る身体語彙 4](#_Toc1908_WPSOffice_Level1)

[3.1 メタファー 5](#_Toc13711_WPSOffice_Level2)

[3.2 メトニミー 5](#_Toc8234_WPSOffice_Level2)

[3.3 シネクドキー 7](#_Toc26116_WPSOffice_Level2)

[3.4 身体語彙からみる認知プロセス 7](#_Toc17830_WPSOffice_Level2)

[4．「頭」を中心とする慣用句への考察 8](#_Toc17065_WPSOffice_Level1)

[4.1　認知言語学における慣用句の分類 8](#_Toc3233_WPSOffice_Level2)

[4.2　中日慣用句による意味の相違 9](#_Toc22971_WPSOffice_Level2)

[5.終わり 13](#_Toc30145_WPSOffice_Level1)

[参考文献 15](#_Toc29058_WPSOffice_Level1)

[謝 辞 16](#_Toc13711_WPSOffice_Level1)

**1 初めに**

一级标题，MS Mincho字体、小三，加粗，顶格，序号与标题之间空1字符

所属国と種族の違いによって、肌の色の違いや行為習慣が多少違うのであるが、皆同じ身体器官の構造を持ち、生理的に同じ機能を持っていると言われる。高級動物の人間として、積極的思考活動機能を持っている。そして、言語は思考活動機能の中、最も重要なツールであり、日常生活交流の中でも重要な役職を果たしている。ところで、人間にとって、身体部位は、単純な生理機能や肉体の一部としての役割範囲を超え、私たちの普段の言語活動の上で、比喩的、暗示的に転用される現象が見られる。人々の間、豊富な心理、感情、考え方などを表すこととよく繋がっている。また、多種多様な身体語彙の構成形式の中で、身体語彙慣用句という語彙要素が沢山見えている。その主に特別な所というと、句としての全体意味は、単純に個々構成部分である語句の文字通りの意味からでは表せない、その上で何か関連性を分析してから納得するものである。この分野について、数多くの先行検討・研究が行われ、身体語彙慣用句についての整理、構成と意味の使い方の分析もさまざまある。この近年では、人の認知能力との範囲に入り、身体語彙に関する慣用句を分析・研究するのが徐徐に増えてきた。普通の言語だけによるのではなく、その語句の生まれた環境背景、その使い手である言語使用者の人生経験・認知能力によって、慣用句の意味生成を調査する、という手段がある。調査してみると、この分野では、「目」「足」「口」などに関する中日比較研究が数多く見られ、成果的には、人間の認知能力の立場で、慣用句への理解と運用がより簡単になると思われる。ということで、本文は、「頭」に関する慣用句を、認知言語学の視点から中日対照研究分析してみる。研究の目的は、中日言語における「頭」に関する慣用句の構成と意味の分析を通じて、両者の異同点を明確にし、その構成要素である「頭」の諸意味と、人間認知的プロセス、また人間の生活経験が慣用句の意味生成においてどのように機能を果たしているのかを簡単に対照考察してみる。

正文开头空一格，采用MS Mincho字体，小四，1.5倍行距。

本文の考察対象は、身体語彙「頭」を中心に関する慣用句である。その考察対象の情報収集と分析素材まとめとして、日本語は、「日本語慣用句辞典」、中国語の場合は、《新日汉辞典》、《中国惯用语大全》、<<日语惯用语例解手册（人体词汇惯用语专辑）》を参考にした。

そして、次のような基準で、対象を選定した。

①本文は、身体語彙中の「頭」の意味分類、意味表現について、日本語の場合は基本的に「頭」を含む慣用句が対象になり、中国語の場合はちょっと特別で、「頭」や「脳」を含むものが対象になる。

②上記基準に基づき、最終的に日本語の「頭」の慣用句を56、中国語を43抽出した。人間の認知言語学の視点から、メタファー、シネクドキー、メトニミーといった言語認知プロセスを使い、中日言語における「頭」を中心に関する慣用句を分析して対照考察する。詳細につき、まず中日両言語における「頭」の意味を基本義と派生義にグループ分け、その意味拡張を分析する。その後、「頭」の基本義と派生義に基づき、中日における「頭」の慣用句の意味生成においてどのように機能を果たしているのかを分析してみる。

上記の基準に基づき、先行研究である方の研究対象に加え、本稿の「頭」を含む慣用句について、中国語 43、日本語 56を抽出された。具体事例まとめは表１で説明する。

表格或图表，图片等要标明出处

表1「頭」を含む慣用句[[1]](#footnote-1)

|  |  |
| --- | --- |
| **中国語の慣用句** | **日本語の慣用句** |
| 头头是道、头脑发热、挨头子、头疼脑热、剃光头、头难剃、挤破头、摸不着头脑、有头有脸、有头脑、没头脑、矮一头、背着牛头不认赃、兵头将尾、吃回头草、好马不吃回头草、出头椽子、出头鸟、枪打出头鸟、打破头、打头炮、打头阵、领头羊、领头雁、火车头、当头棒、顶头风、狗头军师、挂羊头，卖狗肉、红头文件、倔巴头、磕头虫、老虎头上拍苍蝇、没头苍蝇、牛头不对马嘴、抛头颅，洒热血、上断头台、一头热、一头栽到阴沟里、重头戏、栽跟头 | 頭が上がらない、頭がいい、頭が痛い、頭が重い、頭が固い、頭が低い、頭から水を浴びたよう、頭から湯気を立てる、頭が悪い、頭に来る、頭が鋭い、頭が鈍い、頭を抱える、頭をかく、頭を下げる、頭を絞る、頭を縦に振る、頭を横に振る、頭を悩ます、頭をひねる、頭を振る、頭をもたげる、頭が切れる、頭隠して尻隠さず、頭が古い、頭に入れる、頭の上の蠅を追ったら、頭を冷やす、頭が高い、頭から足の爪先、頭で理解する、頭にある、頭に残る、頭の黒いねずみ、頭を上げる、頭を押さえる、頭が下がる、頭を使う、頭をはねる、頭を丸める、頭を下ろす、頭を持ち上げる、頭に血が上る、頭を切りかえる、頭に霜を置く、頭を突っ込む、頭打ちになる、頭を出す、頭がいっぱい、頭が柔らかい、頭に浮かぶ、頭でっかち尻つぼみ、頭になる、頭に上文与一级标题之间空一行焼き付ける、頭越し、頭ごなし |

**2 先行研究**

二级标题，MS Mincho字体、小四，加粗，顶格

**2.1 中国語における先行研究**

　中国語において、《辞海》(2010:683)によると、慣用句は一般的に完全な意味単位として運用する固定用句であり、その意味は各構成要素の意味が組み合わせて成り立つのではなく、比喩などの方法によって成立する修辞的な意味であり、口語化的な色彩が濃いといわれる。

李(2002:56)からは、慣用句は要素構成の固定性及び応用上の全体性を持っているゆえ、成語、諺及び普通の句と同じように固定句に属すると主張している。また、慣用句の特徴について次のように記載されている。第１、慣用句は文字義通りの意味がある一方、対象範囲広げ、抽象的比喩的な意味も持つ。第２、慣用句の要素構成は固めており、その組み合わせの固定性は成語より弱いが、諺より強い。第３、要素構成の機能上、慣用句の標準汎用性が強いであるが、口語化的表現が多いといわれる。……

**2.2 日本語における先行研究**

まず、慣用句の定義設定について、日本国語大辞典[[2]](#footnote-2)から、普通二つ以上の単語が類似、また同じような結びつきをするものが、結合することによって、句全体が独特の意味を表す形式というものと記載されている。慣用語、「高嶺の花」「腐った鲷」など。日本語教育事典では、文句や連語を常にある程度固定の形式であり、それ全体で特別の意味を表すものである。例えば「顔が広い」（回りの人との交際の範囲が広く、知り合いが多い）「泡を食う」（驚きあわてる様子）などある。 ……

引用其他材料的内容或者需要解释说明的部分要加注，方法：把光标移到你引用的部分的后面，然后点击“插入”→引用→脚注和尾注→脚注（编号格式 选1,2,3）→插入，这样页面直接切换到页面下方，在序号后面按作者、书籍、出版社、出版时间、页码的顺序写出即可。

**2.3 中日身体語彙慣用句の比較概説**

**3**  **認知言語学のアプローチからみる身体語彙**

**3.1 メタファー**

**3.2 メトニミー**

**3.3 シネクドキー**

**3.4身体語彙からみる認知プロセス**

**4．「頭」を中心とする慣用句への考察**

**4.1　認知言語学における慣用句の分類**

**4.2　中日慣用句による意味の相違**

三级标题，MS Mincho字体，小四，首行空2字符

4.2.1 近い意味を表す表現

4.2.2 違う意味を表す類似表現

4.2.3 両言語独自な表現

**5.終わり**

正文结束空两行

MS Mincho字体、小三，加粗，顶格

先日文参考文献，MS Mincho字体，五号，按作者姓名首字日文五十音图顺序列出，单倍行距，顶格,悬挂缩进1.5字符

**参考文献**

[1]有薗智美.身体部位に関する日本語慣用表現[J].言葉と文化,2007,(8):139-156 *（期刊）*

[2]籾山洋介.認知言語学入門.研究社,2010.*（著作）*

后中文参考文献, 宋体，五号，单倍行距，顶格，按作者姓氏拼音首字母顺序列出

[3]森田良行.慣用的な言い方.『講座日本語教育』第 2冊,早稲田大学語学教育研究所.1966

[4]方小贇.日本語慣用句の成り立ち.外国文学,2014,(63):77-85

[5]方小贇.日本語と中国語における「首」を含んだ慣用句の比較.[J].宇都宮,2014

[6]黄碧蓉.《人体词语语义研究》复旦大学出版社,2010.

[7]李行健.惯用语的研究和规范问题[J].语言文字应用,2002,(1):56

[8]王宝平.<中日身体部位惯用语的比较>《日语学习与研究》第2期,2005

[9]温端政.《中国惯用语大辞典》上海辞书出版社,2011

[10]王阳春.新日汉辞典.辽宁人民出版社,2017.

[11]張輝.《认知转喻》.上海外语教育出版社,2010.

1. 有薗智美.身体部位に関する日本語慣用表現[J].言葉と文化,2007,(8):139-156 *（期刊）* [↑](#footnote-ref-1)
2. 『日本国語大辞典』、日本大辞典刊行会、小学館、（縮刷版）第 3 巻、 1984、p444 [↑](#footnote-ref-2)